

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日～ 至 令和4年3月31日

運 営 事 業

(1) 第一種社会福祉事業

- ア 特別養護老人ホームかりん (定員98名)
- イ 特別養護老人ホームかりん・町田 (定員77名)

(2) 第二種社会福祉事業

- ア 老人短期入所施設 かりん (定員12名)
- イ 老人短期入所施設 かりん・町田 (定員8名)
- ウ 老人デイサービスセンターかりん (定員35名)
- エ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・成瀬 (定員18名)
- オ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・赤羽根 (定員18名)
- カ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・原当麻 (定員18名)
- キ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・南大谷 (定員18名)
- ク 保育所 湘南まるめろ保育園
- ケ 保育所 湘南わもっか保育園

(3) 公益事業

- ア 居宅介護支援センター かりん
- イ 居宅介護支援センター かりん・町田
- ウ 地域包括支援センター 藤沢東部いきいきサポートセンター
- エ 企業主導型保育園 まるめろっじ
- オ 介護職員初任者研修企画・実施

令和3年度年間事業経過について

<月毎の主な経過>

- 4月・人事発令(1日)、各事業所へ新型コロナ感染防止対策通知発送
 - ・令和2年度中の福祉資格取得者
介護福祉士7名合格、社会福祉士1名合格、介護支援専門員1名合格
 - ・新採用常勤職員、藤沢2名、町田1名 保育園6名(新卒3名)
 - ・新型コロナ感染「かりん町田」3月30日より発生、職員・利用者13名感染
 - ・地域貢献事業「かりんキッズルーム」児童11名で正式に発足
 - ・菖蒲湯週間30日から5月上旬実施

- ・法人リーダー会議開催（12日）
 - ・27日法人職員永年勤続者表彰及び感謝状贈呈式を行う。
- 5月・人事発令（1日）
- ・災害時安否確認システム利用開始（トヨクモ（株）のシステム導入）
 - ・「にっこりかりん子ども食堂」第1回試行実施（5月23日）
 - ・令和2年度法人に関する監事監査（28日）
- 6月・人事発令（1日）、
- ・令和3年度第1回理事会（5日）（事業報告、決算報告等）
 - ・法人リーダー会議開催（14日）
 - ・法人定時評議員会開催（20日）（事業報告、決算報告等）
 - ・令和3年度第2回理事会（20日）（理事長選任）
- 7月・人事発令
- ・夏期賞与支給（12日）、
 - ・災害時安否確認システム実施訓練（28日）
- 8月・人事発令、（1日）
- ・法人リーダー会議開催（16日）
- 9月・人事発令、（1日）
- ・各介護事業所で敬老会を施設内部限定で実施
 - ・湘南まるめろ保育園、職員1名、園児1名コロナ陽性となり、3日から16日まで休園
- 10月・人事発令（1日）
- ・法人リーダー会議開催（18日）
 - ・「にっこりかりんこども食堂」第2回試行実施（24日）
- 11月・人事発令、
- ・特養かりん文化祭（10日）
 - ・EPAベトナム介護人材4名来日（11日）
 - ・特養及び湘南周辺事業所採用者研修（18日）
 - ・藤沢市社会福祉大会開催理事長表彰を受ける（19日）
 - ・かりん・町田及び周辺事業所採用者研修（25日）GHいこいの郷・花梨南大谷指導監査
- 12月・EPA8期生ベトナム介護人材4名歓迎会（3日）
- ・保育園発表会（4日）、第3回法人理事会（4日）
 - ・横浜保育福祉専門学校保育士研修に入る（5日～16日）
 - ・第2回法人評議員会（12日）
 - ・法人リーダー会議開催（13日）
 - ・冬期賞与支給日（17日）
 - ・第4回法人理事会（24日）
- 1月
- ・新型コロナ対応緊急事態宣言発令（7日）
 - ・企業主導型保育園まるめろっじ立ち入り調査（14日）
 - ・湘南まるめろ保育園、湘南わもっか保育園実地指導監査（18日）

- ・第3回子供食堂開催（23日）
- 2月・節分イベント実施（2日）
- 3月・雛祭りイベント（3日） ・法人リーダー会議開催（14日）
 - ・保育園2園卒園式（19日）
 - ・新型コロナ対応緊急事態宣言解除（21日）
 - ・第5回法人理事会（24日）
 - ・第3回法人評議員会（27日）

<令和3年度を総括するための社会背景>

～世界の中では～

- ・今、世界の懸案事項はウクライナでの大規模な戦闘行為で、令和4年2月に始まった、ウクライナへのロシアの軍事侵攻で世界の緊張が高まり、政治や経済、貿易等に大きな衝撃を与えている。
- ・一昨年2月から世界に拡散した新型コロナウイルスによる社会的影響は生命や医療、経済へと想定できないほどの波紋をもたらし、社会生活も変えざるを得ない状況にあり、その被害は現在、社会の危機にあり、そして次々とコロナウイルスの変容から防汚対策が複雑化し、困惑のまっただ中にある。

～日本の全国的状況は～

- ・日本の産業構造は、依然として大企業と投資集団や金融資産を有する階層に依拠しつつあり、また、コロナ感染対策での交流の中断、イベントや大規模集合施設での会合等が制約され、貿易や国際観光も大変厳しい状況にある。
- ・加えて、依然として続くコロナ禍の中で、東京オリンピック開催も実施されたが、様々な問題に影響を与え、ほぼ1年間通してコロナに翻弄された形である。
- ・また、少子高齢化が一段と進む中で、児童生徒数の減少の一途であり、子供を育て易い社会環境の整備が急務とされる。
- ・就業年齢層の減少化の中、外国人材の各産業への流入が増大している。

～法人を取り巻く地域環境～

- ・人材難の中、少しずつ補強や研修を充実させて行く中、成長する法人の将来に向けて、ベトナムからの人材の受け入れを準備し、新型コロナウイルスの影響下でも、11月にかりん藤沢に受け入れることができ、令和4年度も2名の人材の確保することができた。今後も多様な人材を受け入れていく必要がある。
- ・働き方改革の提唱の中で、労働環境を向上させることも求められてきたが、上述した関係で錯綜の事態となっているが、労働環境の諸規則を改訂し、働きやすい環境整備に努めている。
- ・法人を巡る環境は非常に厳しく、克服すべき課題も抱えたが特に人材の確保では、若い層や能力のある就業者が少なく、困難な状況の中にある。そのため高齢の人材も活用していく方向性は一段と進むと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染は、変異株に変わりつつあり、感染力を増して、事業運営上、最も留意する環境である。実際に職員や利用者に陽性患者や濃厚接触者を幾つかの事業所で抱え、危機感を持って事業運営に取り組んだ。

<全体的総括内容について>

- ・法人全体としては、令和3年度では、10箇所て15事業を運営、展開する規模となり、ユニット型特養やGH事業、保育園、地域包括、企業主導型保育園等との相互連携や協力の中で、新たな発展・飛躍を期して、各施設全体で、理念に基づき、堅実で、効率的な人事配置と今後の展望も広げるために研究や努力をしてきた。
- ・職員の技力と熱意、関係者の協力、支援の輪を背景に、「あたたか、安心、いきいき」の理念のもと、コロナ禍の続く中、充実した日常生活の提供と、感染防除に努めながら、従来より低めながら、各事業間の連携や相乗効果を生み出し、法人の未来を堅実なものに繋げたと確信する。

1 10箇所て事業を展開する中で、法人組織の点検と再構築を行いながら、高齢者が安心して暮らせ、乳幼児が安心して豊かに育てられる事業目的を追求し、また組織の透明性の確保や個々の事業の間での協力や連携を進め、事業展開を行った。人事面で困難な所もあったが「GH南大谷」の運営も危機は超えた。また、「GH原当麻」は次第に安定してきた。

特色のある「湘南わもっか保育園」は定員に近づいてきた。園庭全体の特異性である掘り抜き井戸や、傾斜地の森の中に木製遊具を配置し、またピザ窯やかまどを設置して豊かな体験が出来る園とした。今後も3つの園で有効活用を進める。

更に企業主導型保育園「まるめろっじ」も地域関係者の需要に答え、利用促進や法人職員確保のため、入職する職員の利便性に一層貢献した。

2 加算体制の変化を見据えて各事業では収益向上に向け、制度整備を進めた。また、GHの医療体制の課題解決に取り組み、看護師の巡回訪問で安心して暮らせる生活を支えた。人事処遇や組織管理等ソフト面では、人事評価制度を充実させ、運用を着実に推進し、研修体制の充実強化も進めた。

3 「新成長産業」といわれている介護事業や保育分野へは、様々な企業が子会社を設立し進出しており、社会福祉法人としてもしっかり運営するため、組織運営体制の調整や人事処理の整備を進め、厳しい現状にも対応可能となるようハードとソフト両面から検証して、ホームページの充実や関係先との連携で打開策を進めた。

4 特に介護では、令和3年度も介護人材の雇用に苦心する展開になり、研修や面接等できめ細かい配慮を進め、克服の道を一定程度築くことができた。

施設内の研修発表会や外部研修への派遣を行ったが、コロナのため参加者の多い研修はできなかった。

5 事業拡大に伴い、各事業所への巡回等を通じて、組織体制や財務処理、経理処理等の整備、確立に取り組んだ。法人本部機能を堅実なものとし、各事業所の連携と協調の体制に変更した。しかし、まだまだ十二分でない面も残っている。

6 高度情報社会での情報伝達手段として、IT機能を使いこなすようICT化の推進として介護記録のネットワーク化、ソフト更新を進め、特養やグループホーム、保育園で、その運用を実現してきた。

7 保育園事業は開園から7年間が経過し、0歳児から利用した園児も含めて、本年度は2園で25名の卒園児が誕生した。周辺環境を活かし特養、グループホームとの交流を進める予定であったがコロナ禍で最近の二年間は出来なかった。しかし自然とのふれあいや畑での野菜栽培等行い、感覚豊

かな子供達として成長を進められた。今後も老保交流等各事業所間でのプラス・プラスの関係を模索する。

- 8 「湘南わもっか保育園」隣接場所での学童保育支援事業「かりんキッズルーム」は利用する児童が次第に増加し、就労保護者の期待に応じて順調に推移した。
- 9 藤沢の「特養かりん」は建設から18年が経過し、ガス冷暖房や電話交換装置等、施設構造物や設備・備品類で耐用年数が限界に近いため、現在進行中の防音工事と並行して大規模修繕と機器交換入替え等を進めた。施設使用しながらの工事のため課題整理も大変であった。
- 10 法人の運営する地域包括支援センター事業や、短期入所生活介護事業、通所介護事業等の重層的運営の特性や連携を活かして、緊急対応や措置入所等についてセーフティネットの役割を果たした。
- 11 法人職員が約340名近くとなり、各事業所内での退職防止と働きやすい職場環境のため、親睦やコミュニケーションの円滑化を図る必要がある、法人全組織を対象として福利厚生制度の充実と研修支援体制の強化により、組織の纏まりに供した。ただ、コロナ禍で直接の交流や親睦には至っていない。

<法人本部>

1 定款変更申請・登記

定款変更認可申請関係は事案無し

2 監査関係

(1) 神奈川県による指導監査

<特養かりん・町田関係>

令和3年度は、東京都からの実地指導監査は無。

<特養かりん関係>

令和3年度は、神奈川県の実地指導監査は無。

<GH関係>

令和3年度は、令和3年11月25日東京都によりGHいこいの郷・花梨南大谷で実地指導監査があった。2月8日付けで監査結果通知があり、文書指摘事項はなく、口頭指摘のみ。

<保育園関係>

令和4年1月18日 「湘南まるめる保育園」、「湘南わもっか保育園」を対象として神奈川県子どもみらい局次世代育成課による実地指導監査があった。2月8日付けで監査結果通知があり、指摘事項はなく評価された。

<企業主導型保育園関係>

- ・実施日 令和3年8月31日 14:00～16:00
- ・実施指示者 公益財団法人児童育成協会
- ・実施方法 オフサイトによる手法
- ・指摘事項 前回指摘の無かった事項で施設面、書類面で細かい部分の確認を求められたが、保留となったり、説明で了解された点もあり。

3 選挙について

(1) 令和3年度は、10月31日に衆議院議員選挙が執行された。施設内投票所設置は無し。

4 理事会・評議員会・監事監査・評議員選任・解任委員会

(1) 法人役員会

・第1回理事会は、6月5日に開催した。

報告事項

- (1) 理事長の業務報告について
- (2) 特別養護老人ホームかりん施設構造物の防音工事について
- (3) 企業主導型保育園「まるめろっじ」の指導監査結果報告

議案

- (1) 令和2年度事業報告について
 - (2) 令和2年度収支決算書等について
 - (3) 監事監査報告について
 - (4) 令和2年度分事業に関する事業報告、収支決算定時評議員会 の招集について
 - (5) 社会福祉法人永寿会評議員選任・解任委員の選任について
 - (6) 社会福祉法人永寿会評議員選任候補者の推薦について
- ・第2回理事会は6月20日に定時評議員会後に開催した。

(1) 理事長の選任の承認議案。

・第3回理事会は、12月4日に開催した。

報告事項 (1) 理事長の業務報告について

- (2) 特別養護老人ホームかりん施設構造物の防音工事について
- (3) 企業主導型保育園「まるめろっじ」の指導監査結果報告
- (4) 令和3年度中間事業報告について
- (5) 令和3年度中間収支状況報告について

審議事項 (1) 令和3年度第一次収支補正予算書案について

- (2) 令和3年度第2回評議員会の招集について
- (3) 永寿会嘱託職員等の就業規則の変更について
- (4) 法人資産への「抵当権設定」の承認について

・第4回理事会は、12月24日に開催した。

報告事項 なし

審議事項 (1) 特別養護老人ホームかりん施設構造物の防音工事について

- ・ 設計監理業者の審議と承認
- ・ 工事施工業者決定に係る入札調書の開封と予定価格調書開札

・第5回理事会は、3月19日に開催した。

報告事項 (1) 理事長の業務報告について

- (2) 新型コロナ感染に関する状況報告について

- 審議事項 (1) 令和3年度第二次補正予算案について
- (2) 令和4年度事業計画案について
- (3) 令和4年度収支予算案について
- (4) 評議員会の招集について
- (5) 規定・規則等の改正について

- ・ 定時評議員会は6月20日に開催し、令和2年度分の審議を行った。

報告事項

- (1) 理事長の業務報告について
- (2) 特別養護老人ホームかりん施設構造物の防音工事について
- (3) 企業主導型保育園「まるめろっじ」の指導監査結果報告
- (4) 社会福祉法人永寿会評議員選任・解任委員会審議内容について

審議議案

- (1) 令和2年度事業報告について
- (2) 令和2年度収支決算書等について
- (3) 監事監査報告について
- (4) 社会福祉法人永寿会理事・監事の選任決議について

- ・ 第1回評議員会は6月20日に開催した。

- 審議事項 (1) 社会福祉法人永寿会理事・監事の選任決議について

- ・ 第2回評議員会は12月12日に開催した。

報告事項 (1) 理事長の業務報告について

- (2) 特別養護老人ホームかりん施設構造物の防音工事について
- (3) 企業主導型保育園「まるめろっじ」の指導監査結果報告
- (4) 令和3年度中間事業報告について
- (5) 令和3年度中間収支状況報告について

審議事項 (1) 令和3年度第一次収支補正予算書案について

- (2) 永寿会嘱託職員等の就業規則の変更について

- ・ 第3回評議員会は3月27日に開催した。

報告事項 (1) 理事長の業務報告について

- (2) 新型コロナウイルス感染に関する状況報告について

審議事項 (1) 令和3年度第二次補正予算案について

- (2) 令和4年度事業計画案について
- (3) 令和4年度収支予算案について
- (4) 規定・規則等の改正について

- (3) 法人資産への「抵当権設定」の承認について

- ・ 評議員選任・解任委員会は6月 8日に開催し、20日の定時評議員会を以て退任する2名の委員

の後任を審議・決定をした。

(1) 退任者 浅場 亘委員、大谷義男委員

(2) 選任者 加藤通一氏、川瀬眞司氏

2 人事関係

4月 1日から10月 1日までの経過

・採用職員 介護職 常勤16名、嘱託2名 非常勤20名

保育職 常勤 7名、嘱託2名 非常勤 5名

相談員 常勤 1名

看護職 常勤 2名、嘱託0名 非常勤 3名

・退職職員 介護職 常勤13名、嘱託0名 非常勤10名

保育職 常勤 2名、嘱託0名 非常勤 4名

相談員 常勤 1名

看護職 常勤 0名、嘱託0名 非常勤 1名

・第8期EPAベトナム人職員4名9月10、11日に来日、千葉の研修所に入寮

5 新型コロナ対策

・法人全体としては「執行調整会議」で検討・情勢分析し、各事業所での方針をについて確認・指示した。また、防除対策の物品や薬品等の備蓄と配布を綿密に行い、国や行政の補助金、助成金を最大限活用して法人経費負担の圧縮に努めた。